

ドイツ語 (初級 A) 第 14 回 基数

範囲: 教科書第 9 課 (S. 36-38)

《今回の基本例文》

49. Wie viel kosten fünf Hefte? – Fünf Hefte kosten sechs Euro. (CD51-2b)

ノート 5 冊でいくらですか? – ノート 5 冊でしたら 6 ユーロになります。

[基数、値段]

50. Wie viel Uhr ist es? – Es ist zwölf Uhr fünfzehn. (CD52-4)

いま何時ですか? – 12 時 15 分です。

[時刻、(基数)]

I 数詞 (基数)

■ 数詞について

◇ 数詞のうち重要なものとしては、**基数** (数そのものや個数を表す、英語の *one, two, three*…) と序数 (「何番目」を表す、同 *first, second, third*…) がある。

* ほかに、反復数 (同 *once, twice / two times*…)、倍数 (同 *single, double, triple*…) など。

◇ 基数は**金額**、**時刻**、西暦年など、序数は月日などに用いる。ここでは基数を学ぶ。

* 序数は形容詞と同じ格変化をするため、あとに回す。 (⇒教科書 S. 67)

** 西暦年、特に 20 世紀までの西暦年は英語同様に特殊な言い方をする。これも月日と一緒に扱う。

1 基数 (S. 36)

◇ 1~12 に関しては、すでに覚えてもらった。 (⇒授業第 1 回配付資料 S. 7)

◇ 0 は **null**。

《13 以降の基数の覚え方》

13~19 : 3~9 + **zehn**

20~90 : 2~9 + **zig** (30 のみ例外、-ßig)

100~900 : 1~9 + **hundert**

1000, ~9000 : 基数 + **tausend**

100 万~900 万 : 基数 + **Million[en]**

◇ 13~19 : 3~9 + **zehn**。ただし、**sechzehn** (16) と **siebzehn** (17) だけ若干異なるので注意。

* sechs は chs の発音規則 ([ks]) を反映するが、sechzehn はあくまでも ch の発音規則 ([ç]) を反映。

** sieben の b は母音の前なので [b] の音、siebzehn の b は子音の前なので [p] の音。

- ◇ 20 以上の 2 桁の数は、
- 20~90 : 2~9 + **zig**。ただし、**zwanzig** (20) , **dreißig** (30) , **sechzig** (60) , **siebzig** (70) には注意。
* sechzig や siebzig の発音には、それぞれ sechzehn や siebzehn と同じ注意を要する。
 - 21~99 : 1~9 + **und** + 20~90。
 - なお、英語と異なって、ハイフンなどで分かち書きをせず一続きに表記する。

21 : einundzwanzig (= *twenty-one*)

* eins (1) は、最後に読まない場合は ein とする。

- ◇ 3 桁の数は、

百の位 : ○○hundert

→ **下二桁** の順

- 100~900 : 1~9 + **hundert** (英語の *hundred* と同じ)。100 は単に **hundert** でも可。
- それ以外 : 100~900 + 下 2 桁。

111 : [ein]hundertelf

365 : dreihundertfünfundsechzig

* 百の位 → 一の位 → (und →) 十の位の順になっていることに注意。

- ◇ さしあたり、この辺まで覚えておけばよい。これ以降は、現時点では参考程度でよい。

* のちに西暦年を扱うので、努力目標としては 4 桁まで言えるようになってほしい (21 世紀以降の西暦年は基数と同じ)。

練習

次の数字をドイツ語で言え。

a. 38 b. 45 c. 66 d. 73 e. 84

f. 119 g. 120 h. 121 i. 324 j. 999

- ◇ 4 桁~6 桁の数は、

○○tausend

→ **下三桁** の順

- 1000~9000 : 1~9 + **tausend**。
- 万や 10 万は 10 千や 100 千と考え、基数 + **tausend** を用いる (英語の *thousand* と同じ)。

2024 : zweitausendvierundzwanzig

2909 : zweitausendneunhundert[und]neun

- ◇ 100 万, 200 万~ : 基数 + **Million** (英語の *million* と同じ、アクセントは on にあり)。なお、**Million** は一般の名詞 (女性) 扱いなので、

- 分かち書きをして、
- 100 万には女性形の不定冠詞 **eine** をつけ、200 万以降は複数形の **Millionen** にする。

100 万 : eine Million

200 万 : zwei Millionen

2 金額

€ 〇〇, ×× = 〇〇 Euro ×× [Cent]

おいくらですか? : Wie viel kostet / kosten ... ?

◇ 現在のドイツの通貨体系では、

- ・基本通貨: **Euro** (日本語表記は「ユーロ」、発音は[ɔʏro])
- ・補助通貨 (その 100 分の 1 の価値): **Cent** (日本語表記は「セント」、発音は[sɛnt]もしくは[tɛnt])

が使われており、ユーロの記号は€で、セントは小数点以下で表す。

* 100 円に相当するのがユーロ、1 円に相当するのがセントだが、2024 年半ば時点では 1 ユーロ=170 円前後のレート。

€ 1 = ein Euro

€ 0,78 = achtundsiebzig Cent

€ 53,25 = dreiundfünfzig Euro fünfundzwanzig [Cent]

* この場合、Cent は省略してもよい。

◇ 金額を尋ねるとき、

- ・疑問詞は **wie viel** (英語の *how much* に相当)。
- ・動詞 (「～ (いくら) かかる」) は **kosten** (英語の *cost*)。kosten の変化は **arbeiten** 型 (教科書 S.9)。

Wie viel kostet es?

(単数の品物を指して) おいくらですか?

Wie viel kosten sie?

(複数の品物を指して) おいくらですか?

3 時刻 (S.37)

〇〇. ×× Uhr = 〇〇 Uhr ×× Minuten

何時ですか? : Wie spät ist es?

Wie viel Uhr ist es?

◇ 「〇〇. ×× Uhr」は「〇〇時××分」の意で、**〇〇 Uhr ×× [Minuten]**と読む。Uhr は英語の *o'clock* に相当。Minuten (英語の *minutes*) は省いてもよい。

* Uhr は一般の女性名詞としては「時計 (*watch*)」、時刻表現としては「〇〇時 (*o'clock*)」ということ。

9.00 Uhr = neun Uhr

16.40 Uhr = sechzehn Uhr vierzig [Minuten]

◇ 「何時何分に」と時刻を言うとき、前置詞は、

- ・正確な時刻なら **um**。
- ・だいたい時刻なら **gegen**。

Der Zug nach Köln fährt um 14.23 Uhr [vierzehn Uhr dreiundzwanzig Minuten] vom Gleis 2 [zwei] ab.

ケルン行きの列車は 14 時 23 分に 2 番線から発車します。

* 動詞は分離動詞 *abfahren* (*vi.* 発車する)、vom は *von+dem* の融合形であることは承知の通り。

◇ 時刻を尋ねるとき、

・ 疑問詞は **wie spät** もしくは **wie viel Uhr**。

* wie は「どのくらい (=how)」、spät は形容詞「遅い」なので、wie spät は「どれくらい (時刻が) 遅いか」の意味。

** 前述のように wie viel は *how much*、Uhr は「時」なので、wie viel Uhr は文字通り「何時か」の意味。

・ 主語には**非人称主語 es**。

Wie spät ist es?

何時ですか。

- Es ist 4 [vier] Uhr.

4 時です。

参考 Viertel や halb を用いた時刻の言い方

◇ 以下は、英語で言う *quarter* や *half* を用いた時刻の言い方である。教科書には掲載されているが、これは覚えなくてよい。また、間違いやすいので使わない方がよい。もし母語話者が使ってきた場合、「〇〇 Uhr ×× Minuten」式で聞き返して確認しておくべきである。

◇ 「〇〇時××分」を Viertel (15 分、英語の *quarter* に相当) や halb (半/30 分、英語の *half* に相当) を用いて述べるときは、

・ 前置詞 vor (～前) や nach (～過ぎ) と併用する (Viertel のみ)。

16. 15 Uhr = (ein) Viertel nach sechzehn (16 時 15 分過ぎ)

16. 45 Uhr = (ein) Viertel vor siebzehn (17 時 15 分前)

・ 前置詞を用いないときは、Viertel n は n-1 時 15 分、halb n は n-1 時 30 分、drei Viertel n は n-1 時 45 分というように、〇〇時の 1 つあとの基数をうしろに従える。

16. 15 Uhr = Viertel 17 [siebzehn]

16. 30 Uhr = halb 17 [siebzehn]

16. 45 Uhr = drei Viertel 17 [siebzehn]

* Viertel は名詞扱いのため語頭を大文字、halb は形容詞と同じく語頭を小文字。

* 結局、日本語で「n 時半」は「n 時 30 分」だが、ドイツ語で「halb n」は「n-1 時 30 分」であり、これがややこしいから使わない方がよいということ。Viertel や drei Viertel が入るとさらにわかりにくくなる。

連絡先など

教員のメールアドレス: tokan@nifty.com 授業のウェブサイト (進捗表示、配付資料あり): <http://hasegawa.la.coocan.jp/lecture/>